

# モバイルワイヤレスマウス **M-D5UR** シリーズ ユーザーズマニュアル

この度は、エレコムのモバイルワイヤレスマウス "M-D5UR" シリーズをお買いあ げいただき誠にありがとうございます。"M-D5UR" シリーズはワイヤレスで操 作できるホイール付きオプティカルマウスです。手のひらサイズのコンパクト設 計で、マウスを使用しないときはレシーバユニットをマウス本体に収納できます。 このマニュアルでは "M-D5UR" シリーズの操作方法と、 "M-D5UR" シリーズを 安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずこ のマニュアルをお読みください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて "M-D5UR" シリーズを「本製品」と表記しています。また、このマニュアルは大切 に保管しておいてください。

#### 本製品は以下の条件で使用できます。

対応機種	IBM PC/AT 互換機および NEC PC98-NX シリーズで USB ポートを標準で装備した機種
対応 OS	Windows® XP / Me / 2000 / 98

※本製品は"微弱電波機器"ですので総務大臣の無線局許可は必要ありません。電波法に準拠して います。

## パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべて が揃っているかを確かめてください。なお、梱包には万全を期しておりますが、 万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊 社エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

●マウス本体	1個
●レシーバユニット	1個
●単4形アルカリ乾電池(動作確認用)	2本
● USB 延長ケーブル(0.8m)	1本
●マウス収納ボーチ	1個
●ユーザーズマニュアル(このマニュアルです)	2枚

## 安全にお使いただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みく ださい。

▲ 薯 告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などに よる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
▲ 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の 事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたり することがあります。

### ■絵表示の意味

◎記号は「してはいけない」 ●記号は「しなければ ならない」ことを示します。 ことを示します。

# 警告



- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、 直ちに使用を中止したうえで、レシーバユニットをパソコンからはずし、マウスか ら乾電池を取り出してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。破損し たまま使用すると、火災や感雷の原因になります。
- 本製品の分解、改造、修理をご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因に なります。また、故障時の保証の対象外となります。

- 本製品に水や金属片などの異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで、レシーバ ユニットをパソコンからはずし、マウスから乾電池を取り出してください。そのあと、ご購 入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
- 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。

レシーバユニットをぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲 げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

マウスの底面にあるオプティカルセンサ(赤い光)を直接見ないようにしてください。目 を痛めることがあります。また、このセンサを汚したり、傷をつけたりしないでください。

# 注意

本製品は次のようなところには置かないでください。 日のあたる自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の周辺など高温になるところ ・多湿なところ、結露をおこすところ ・平坦でないところ、振動が発生するところ ・マグネットの近くなどの磁場が発生するところ ・ほこりの多いところ

レシーバユニットをパソコンに接続するときは、コネクタの向きを間違えないように接 続してください。無理に押し込むと、レシーバユニットやパソコンが故障したり、けがを すろ恐れがあります

- 本製品は防水構造ではありませんので、水などの液体がかからないところで使用または 保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。
- 本製品には単4形アルカリ乾電池または単4形マンガン乾電池をお使いください。充電 式電池は使用しないでください。電池は新しいものと古いものを混ぜて使用したり、分 解したりしないでください。プラスとマイナスの向きを正しく入れてください。また、本 製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原 因になります.
- 本製品に使用する乾電池は、一般の不燃ゴミとして処分できるものです。自治体の条例 などの定めがある場合は、その条例に従って廃棄してください。

### 本製品を使用する場合の注意事項

- ●本製品は電池の消耗を防ぐためスリープモードがあります。約1秒操作がありま せんとスリープモードに移行します。スリープモード状態の時に何らかのマウス 操作をおこなうと通常モードに戻ります。
- ●本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しない でください。本製品は周波数が27MHz帯の微弱電波を使用しており、まれに外 部から同じ周波数の電波を受け、誤動作することがあります。
- ●航空機内や病院など、電波使用を禁止されている場所では本製品をご使用にな らないでください。微弱ですが電波を使用しているため、電子機器や医療機器(例 えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。
- ●携帯電話は、本製品に影響を受けない距離を保ってご使用ください。携帯電話の 電波の影響を受けて本製品の動作が不安定になることがあります。
- ●付属のUSB 延長ケーブルをレシーバユニットに巻きつけた状態で使用しないで ください。受信性能が低下する場合があります。
- ●残量が少なくなった電池は、新しいものと交換してください。電池の残量がすく なくなると動作が不安定になります。

### お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

 シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると変質や変色をお こすことがあります。

# 各部の名称とはたらき



1)	ホイール	指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、 Windows®の操作ができます。
2)	右ボタン	Windows®の操作の右クリックに使います。
3)	左ボタン	Windows®の操作の左クリックに使います。
1)	アクション ボタン	このボタンのホイール側を押すと、電池カバーが開きます。 反対側の「 <b>))</b> 」部を押すと、レシーバユニット収納口から レシーバユニットが出てきて、マウス本体に電源が入ります。
5	電池カバー	このカバーを開けて、電池を入れます。
3)	レシーバ ユニット 収納ロ	本製品を使用しないときは、ここにレシーバユニットを収納 します。レシーバユニットを収納するとマウスの電源が切れ、 取り出すと電源が入ります。 3ページ「乾電池を入れる/ 交換する」をご覧ください。

0	オプティカルセンサ	マウス本体に乾電池が入いると赤く光ります。マウ ス本体を動かしたときに、このセンサによってマウ スの動きが検知されます。センサの光を直接見ると 目を痛めることがありますので注意してください。
8	ID 設定ボタン	本製品のIDを変更するときに使います。
9	USB コネクタ(オス)	パソコンのUSB ボートまたは付属の USB 延長 ケーブルに接続します。
(10)	ID 設定ボタン	本製品のIDを変更するときに使います。
1	USB コネクタ(オス)	パソコンの USB ポートに接続します。
(12)	USB コネクタ(メス)	レシーバユニットのUSB コネクタをここに接続し ます。

### レシーバユニットの取り付け / 取り外し

はじめてお使いになるときは、はじめにレシーバユニットをパソコンに取り付けます。以下の手順どおりパソコンの電源を入れてからレシーバユニットを取り付けてください。 Windows® XP/Me および Windows® 2000 の一部の環境では、レシーバユニットを取り付けると自動的に Windows®標準のドライバがインストールされ、すぐに使用でき るようになります。

### ■取り付ける場合

#### 注意 取り付けの前に以下の点にご注意ください

- Windows<sup>®</sup> 98/2000 をご使用の場合、今までお使いのマウスは接 続したままにしておきます。あとのセットアップでマウスの操作が 必要な場合があります。
- 既存のマウスがメーカオリジナルのドライバや設定ユーティリティ などを使用している場合は、あらかじめアンインストールしておい てください。他社製ドライバなどがインストールされていると本製 品が正常に動作しないことがあります。アンインストールの方法に ついては、今までお使いのマウスの説明書をお読みください。

### ●レシーバユニットを取り付ける前にパソコンの電源を入れ、 Windows®を起動します。

·Windows®XPの場合は、起動時にログオンするアカウント(ユーザー名)を 尋ねられる場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログ オンしてください。

・Windows® 2000の場合は、Administratorの権限をもつユーザーでログオ ンしてください。

・Windows®が起動し、操作可能な状態になるのを確認してください。

### **∂**レシーバユニットの USB コネクタをパソコンの USB ポートに 差し込みます。



 ・差し込みの際、強い抵抗を感じる場合は、 コネクタの形状と向きが正しいか確認し てください。無理に押し込むとコネクタ が破損したり、けがをする恐れがあります。

· USB ハブ経由でもお使いいただけます。 ただし、USBハブの電源供給能力によっ ては本製品が動作しない場合があります。

### Tips スチール製の机の上で使用する場合

スチール製の机などの金属面では電波が吸収されるため、本製品の動作が不安定に なります。この場合、付属の USB 延長ケーブルを使ってレシーバユニットを取り付け、 マウスの動作が安定するところまでレシーバユニットをマウスに近づけてください。

### ❸この後はOSにより動作が異なります。

#### ●Windows<sup>®</sup> XP/Meの場合

自動的にドライバがインストールされます。これでレシーバユニットの取り付 けとドライバのインストールは完了です。 → 3ページ「乾電池を入れる / 交換する」へ進みます。

#### ●Windows<sup>®</sup> 2000の場合

・ドライバが自動的にインストールされた場合は、これでレシーバユニットの 取り付けとドライバのインストールは完了です。

- → 3ページ「乾電池を入れる / 交換する」へ進みます。
- ・ウィザード画面が表示された場合は、手動でドライバをインストールします。 → 2ページ[レシーバユニットをセットアップする]へ進みます。

### ●Windows<sup>®</sup>98の場合

ウィザード画面が表示されます。 → 2ページ「レシーバユニットをセットアップする」へ進みます。

### ■取り外す場合

レシーバユニットはホットプラグに対応していますので、Windows®が起動した 状態でも取り外すことができます。

※Windows®の記動中に何度も着脱なくり返すと 動作が不安定になることがあります このような場合は Windows®を再起動してください。

### レシーバユニットをセットアップする

Windows<sup>®</sup> 2000の一部の環境とWindows<sup>®</sup> 98では、レシーバユニットの 取り付け後にウィザード画面が表示されます。ウィザード画面が表示された 場合は、この後の各OSの説明をお読みになりドライバをインストールして ください。

#### Tips マウスやタッチパッドのないパソコンの場合

Windows<sup>®</sup> 98/2000 ではセットアップ時にマウスの操作が必要なことがあり ます。マウスまたはタッチパッドなどがないパソコンをお使いの場合は 4ペー ジ[トラブルシューティング]の[Tips:キーボードでの操作]をご覧になり、キー ボードから操作してください。

### Windows<sup>®</sup> 2000 の場合

Windows<sup>®</sup> 2000 では、ご使用の環境によってレシーバユニットの取り付け 後に次のようなウィザード画面が表示されることがあります。ウィザード画面 が表示された場合は、メッセージにしたがってドライバをインストールしてく ださい。レシーバユニットの取り付け後に自動的にドライバがインストールさ れた場合はウィザード画面は表示されませんので、この手順は不要です。



●途中、(ドライバ ファイルの特定)画面が表示された場合は[検索場所のオ プション]のチェックをすべてオフにして、次へ進んでください。

たちごうのオブション: 「「」「」」アピー ディスク ドライブ(①)	チェックボックス
C)-ROM ドライブ(C)	オノロの状態に
」 □ 1 所を指定(S)	なっているか確認
Concept Windows Update(M)	します。

●途中、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面が表示されます。 「USBヒューマン インターフェイス デバイス」および「HIDキーボードデ バイス」のいずれのドライバも正常に動作することを当社で確認しており ますので、はいボタンをクリックして次へ進んでください。



●インストールが終われば 3ページ「乾電池を入れる/交換する」へ進みます。

### Windows® 98の場合

Windows<sup>®</sup> 98 では、レシーバユニットの取り付け後にウィザード画面が表示され ますので、手動でドライバをインストールしてください。セットアップ中に「Windows® 98 オペレーティングシステムJの CD-ROM が必要になる場合がありますので、 あらかじめご用意ください。

● Windows<sup>®</sup> 98 プリインストールモデルのコンピュータをご使用の場合 パソコンのご購入時に添付されている「Windows® 98 CD-ROM」または 「Windows® 98 Second Edition CD-ROM」をご用意ください。 このような表記の CD-ROM がない場合は、手順 ③の Tips で「ファイルのコピー 元 | に CD-ROM ドライブを指定する代わりに [C: ¥windows¥options¥cabs] フォルダを指定してください。

※このフォルダを指定してもインストールが進まない場合は、Windows<sup>®</sup> 98 標準ドライバファイルの保存先についてお使いのパソコンメーカにお問い 合わせください。

※ Windows<sup>®</sup> 98 プリインストールモデルの場合は、ドライバが自動的にイン ストールされることもあります。

● Windows<sup>®</sup> 98 のパッケージをご購入されている場合 パッケージに入っている「Windows® 98」の CD-ROM をご用意ください。

### ●レシーバユニットの取り付け後、〈新しいハードウェアの追加ウィ ザード〉画面が表示されます。次へボタンをクリックします。



### ④「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。 ❸ 次へ ボタンをクリックします。



### **①**すべてのチェックボックスをオフにします。 ⑦ 次へ ボタンをクリックします。



・キーボードで操作している場合で[検索場所の指定]のチェックボックスがオ フにできないときは、[検索場所の指定]の入力スペースを空白にしておいて ください。

### ⑦検索するドライバファイルとして「USB ヒューマン インター フェイスデバイス」が表示されていることを確認します。

● 次へ ボタンをクリックします。



### <sup>①</sup>Windows<sup>®</sup> 98 CD-ROM をドライブに入れるようにメッセージ が表示された場合は、用意しておいた CD-ROM をドライブに 入れます。OKボタンをクリックします。



·プリインストールモデルをご使用の場合は、このあとの「Tips」を参照してフォ ルダを指定してください。





※ドライブ名に続いて[:]と[¥]を入力し、 さらに「WIN98」を入力します。

② OK ボタンをクリックします。

### ● 参照 ボタンをクリックする方法



①(ファイルのコピー)画面で、参照 ボタンをクリックします。 ②「ドライブ」でCD-ROMを入れたドライブを選択し、「フォルダ」で「win98」フォル ダを選択します。 ③ OK ボタンをクリックします。 ④(ファイルのコピー)画面の OK ボタンをクリックします。

### ③ドライバのインストールが完了したら、完了ボタンを クリックします。



Windows<sup>®</sup> 98 CD-ROMの画面が表示された場合は、画面右上の 🗙 をクリックして画面を閉じてください。 Windows<sup>®</sup> 98 CD-ROM を取り出してください。

注意 完了 ボタンをクリックしたあと、 Windows<sup>®</sup> 98 CD-ROM を要求されたときは ご使用の環境によっては 完了 ボタンをクリックしたあと、ドラ イバの更新中に Windows<sup>®</sup> 98 の CD-ROM を要求されるこ とがあります。このような場合は、手順 🕑 と手順 🕑 の Tips を 参考にしてインストール作業を続けてください。

### ①これでレシーバユニットのセットアップは完了です。 E ページ「乾電池を入れる / 交換する」へ進みます。

### 乾電池を入れる / 交換する

マウス本体に単4形アルカリ乾電池または単4形マンガン乾電池を2本入れ ます。本製品に付属のアルカリ乾電池は動作確認用です。製品の流通過程で乾 電池が自然放電し消耗していることがありますので、動作が不安定な場合は 新しい乾電池に交換してください。

# Tips 乾電池について

#### ●使用できる乾電池について

本製品で使用できる乾電池は、市販されている単4形アルカリ乾電池または単 4形マンガン乾電池です。その他の乾電池は使用しないでください。

#### ●電力性能(新しい単4形アルカリ乾電池を使用した場合)

連続動作時間:約52時間 連続待機時間:約192日(4600時間) 想定使用可能時間:約15日(1日8時間のパソコン操作中25%をマウス操作 に割り当てた場合)

※マウスを使用しないときは電源をが切っておくと、電池を節約できます。このページ の「レシーパユニットを収納する」および「電源を切る」をお読みください。

### ●電池交換の時期

乾電池の残量が少なくなると、マウス底面にあるオプティカルセンサのLED が 点灯しなくなります。早めに乾電池を交換するようにしてください。

### ●電池カバーをはずします。



·マウスを前方(ホイール側)に傾けて持ち(1)、アクションボタンのホイー ル側を押します(2)。

電池カバーのロックがはずれたら、持ち上げてはずします(3)。 ・マウスに電池が入っている場合、マウスを後方(レシーパユニット収納口 側)に傾けていると、電池カバーが開いたときに電池と電池カバーを落と してしまうことがあります。ご注意ください。

### ❷乾電池を入れます。



・交換する場合は先に古い電池を取り出してから新しい電池を入れます。
 ・プラス(+)とマイナス(−)の向きを正しく入れてください。
 ・種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
 電池が液漏れを起こし、故障の原因となります。

### €電池カバーを閉めます。



電池カバーの穴を、マウス本体のツメに合わせます(1)。電池カバーをマ ウスの前方にむかってカチッとはめ込みます(2)。 マウス本体にレシーバユニットが入っていなければ、電池カバーを閉め

・マウス本体にレシーパユニットが入っていなければ、電池カバーを閉めるとマウスに電源が入り、底面のオブティカルセンサが赤く点灯します。 レシーパユニットが入っているときは、レシーパユニットを取り出したときに電源が入ります。

### マウスを使う

#### ■レシーバユニットの位置を調整する

●レシーバユニットは、できるだけマウスに近い範囲に設置してください。うまく 動作しないときは、付属のUSB 延長ケーブルを使ってレシーバユニットを取り 付け、レシーバユニットをマウスに近づけてください。

- ●レシーバユニットとマウス本体の間には、ディスプレイモニタなど電波に干渉する 機器を置かないでください。無線 LAN や携帯電話の電波が影響することもありま すので、レシーバユニットは無線 LAN アダプタや携帯電話から離してください。
- ●付属の USB 延長ケーブルをレシーバユニットに巻きつけると受信性能が低下します。ケーブルが長すぎるときは束ねるなどして処理してください。

### ■本製品の動作範囲



### ■ホイールの動作を確認する

ドライバが正常にインストールされると、カーソルの移動や左右ボタンが使用でき るようになります。ここでは、Windows®の標準機能である「メモ帳」を使ってマウ スのホイールが正常に動作しているかを確かめます。

### ●[スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[アクセサリ] を選択し、[メモ帳]をクリックします。



■レシーバユニットを収納する

マウスを使用しないときはレシーバユニットをマウス本体に収納しておくと、マウ スの電源が切れ、電池を節約できます。収納するには、下図のように、レシーバユニッ トをマウス本体のレシーバユニット収納口からゆっくりと差し込み、カチッと音が するまで押し込みます。マウスの電源が切れ、底面のオプティカルセンサのランプ が消えます。



注意 レシーバユニットは ID 設定ボタン側を上にして、USB コネクタ側 からゆっくりと差し込んでください。間違った向きで無理に押し込むと、 故障やけがの原因になります。

### ♀メモ帳の画面の高さを10行程度表示できる大きさにします。 文字の入力と改行をくり返します。



 ・適当な文字を入力します。
 ・入力する文字の行数は、10 行程度表示できるようにしている場合で20 行程 度入力します。

※面面例では0~9の数字を

順番にひとつずつ入力して

改行しています。

- 表示できる行数を超えると

スクロールバーが現わます。

### 



ホイールの動きに合わせて画面がスクロールすれば問題ありません。

注意 すべてのアブリケーションがホイール機能に対応しているわけでは ありません。一部のアブリケーションでは、ホイールを回しても動作 しない場合があります。

### ■電源を切る

マウスの電源を一時的に切ることで電池の消耗を抑えることができます。電源を 切る方法は次の2通りがあります。

- ●底面のオプティカルセンサの光が消えるまで、マウスの右ボタン、左ボタン、ホイールを同時に押し続けます。再び電源を入れるには、これらのいずれかのボタンを押します。
- ●レシーバユニットをマウス本体に収納します。詳しくは、このページの「レシーバ ユニットを収納する」をお読みください。

### ■レシーバユニットを取り出す

マウスを使用するときは、マウスからレシーパユニットを取り出してパソコンに取り付けてください。レシーパユニットを取り出すには、アクションボタンの「》)」部を押します。レシーパユニットが少し出てきますので、指でつまんで取り出します。マウスの電源が入り、底面のオプティカルセンサが赤く点灯します。取り出したレシーパユニットは、 1ページ「レシーパユニットの取り付け/取り外し」の手順 ④ を参考に、パソコンに取り付けてください。



### ID を変更する

本製品は無線を使用しているため、同じIDの製品が狭い範囲に複数ある場合、 混信を起こすことがあります。混信が起こる場合は以下の手順で ID 設定を変 更してください。また、マウスが動作しないときは、レシーバユニットとマウス が異なる ID に変更されている可能性がありますので、同じ ID になるように 設定してください。ID は 256 通りあります。

注意 ID 設定を変更して混信を回避しても、近接した周波数を使用しているために、動作性能が多少低下することがあります。

●レシーバユニットをパソコン本体などのUSB ポートに取り 付けた状態で Windows<sup>®</sup>を起動しておきます。

### ②確実に電波を受信できるようにマウス本体をレシーバ ユニットに近づけます。



### ④マウス本体の底面にある「ID 設定ボタン」を1回押します。



 ボタンを押すと、マウスの底面にあるオプティカルセンサの赤い光が消え、 はなすと再び点灯します。

### ◎10秒以内にレシーバユニットの「ID設定ボタン」を1回 押します。



### **④マウスを動かして、カーソルが正しく動くか確認します。**

・カーソルが動かない場合は手順 ❷ に戻り、もう一度、ID を変更してください。

### トラブルシューティング

### 正常に動作しないとき

マウスを動かしても画面上のマウスポインタが動かないときや動作が不安定 なときは、以下の点をご確認ください。

- ⇒スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなり、動作が不安定にな ります。この場合、付属のUSB延長ケーブルを使ってレシーバユニットを取り付け、 マウスの動作が安定するところまでレシーバユニットをマウスに近づけてください。
- ⇒ レシーバユニットがパソコン本体などの USB ポートに正しく接続されていない 可能性があります。いったんコネクタをはずして、接続しなおしてください。
- ⇒レシーバユニットとマウス本体の距離が離れすぎているか、レシーバユニットが 電波を受信できない方向を向いている可能性があります。レシーバユニットの位 置を調整するなどしてください。
- →レシーバユニットとマウス本体のID設定が異なっている可能性があります。 3ペー ジ「IDを変更する」をお読みになりIDの設定をやり直してください。すでにID設 定をしている場合は、正しく設定できていない可能性があります。マウス側のID 設定ボタンは、オプティカルセンサが消灯するまでしっかりと押してください。レ シーバユニット側の ID 設定ボタンは、マウス側の ID 設定ボタンを押してから 10 秒以内に、カチッという感触があるまでしっかりと押してください。また、スチー ル製のデスクなどの金属面でIDを設定すると正しく設定できないことがありま すので、マウスパッドなどを敷いてから設定をやり直してください。
- → レシーバユニットとマウスの間にディスプレイモニタを配置すると、電波が干渉 する場合があります。この場合、配置を見直してください。その他にも、無線LAN アダプタや携帯電話なども電波が干渉する原因になります。
- ⇒本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉 する可能性があります。 🖪 ページ [ID を変更する] をお読みになり本製品の ID 設 定を変更するか、他のワイヤレス機器の ID を変更してください。
- ⇒ 電池の残量が少なくなっている可能性があります。 3 ページ 「乾電池を入れる/ 交換する」をお読みになり、新しい電池と交換してください。
- ➡ ドライバが正しくインストールされず、本製品が Windows<sup>®</sup> に「不明なデバイス」 として登録されている可能性があります。本製品は通常は「USB ヒューマンインター フェイスデバイス」として登録されます。「不明なデバイス」になっている場合は、 次の「「不明なデバイス」の削除方法」をお読みになり、いったんドライバを削除し てください。次に 2 ページ「レシーバユニットをセットアップする」をお読みにな り、セットアップをやり直してください。
- ◆ ノートパソコンのタッチパッドなど、他のドライバと競合している可能性がありま す。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバを削除する必要があり ます。ただし、ドライバを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチ パッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメー 力にお問い合わせください。

#### Tips キーボードでの操作

Windows<sup>®</sup> 98/2000 でのセットアップ時にキーボードで操作しなければなら ない場合は、次のキーを使用します。

[TAB]: 項目やボタンを移動します。

(↑)↓: 項目に選択肢がある場合に、選択肢を移動します。 Cキー:キーを押すたびにチェックボックスをオン/オフします。 ※次へ OK キャンセル などのボタンを実行したい場合は、 Enter キーを 押します。

### 「不明なデバイス」の削除方法

本製品のドライバが正しくインストールされず、「不明なデバイス」として登録され ているときは、デバイスマネージャを使って「不明なデバイス」を削除してからセッ トアップをやり直してください。

- 注意
  ・「不明なデバイス」が複数ある場合、以下の手順をはじめる前にどの 「不明なデバイス」が本製品の認識情報であるかを確認してください。 レシーバユニットをいったんパソコンから取り外してみて、「不明な デバイス」の表示が消えれば、それが本製品の認識情報です。確認 が終わったら再度本製品をパソコンに接続し、以下の手順にしたがっ て削除してください。
  - 以下の手順どおりにドライバを削除しても「不明なデバイス」が消 えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性が ありますので、パソコンメーカにお問い合わせください。

### ■ Windows® XP/2000 でデバイスマネージャを表示する

●Windows<sup>®</sup> XP では、[スタート] ボタンをクリックします。

**O**Windows® XP ではリストにある [マイコンピュータ] アイコン を右クリックします。 Windows<sup>®</sup> 2000 ではデスクトップにある[マイコンピュータ] アイコンを右クリックします。

### **④**[プロパティ]をクリックします。



### ●[ハードウェア]タブを選択します。

### 「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。



### 

## ■ Windows® Me/98 でデバイスマネージャを表示する

●デスクトップにある [マイコンピュータ] アイコンを 右クリックします。

#### **2**[プロパティ]をクリックします。



#### **○**このあとは次の「『不明なデバイス」を削除する」へ進みます。

### ■「不明なデバイス」を削除する

●[デバイスマネージャ]画面にある「不明なデバイス」を 右クリックします。

#### ❷ 削除 をクリックします。



### 



### ○本製品を接続したまま、Windows<sup>®</sup>を再起動します。 この後、日ページ[レシーバユニットをセットアップする]を お読みになり、ドライバのインストールをやり直してください。

保証規定 ■保証内容

取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記 載内容に基づき無償修理いたします。

#### ■毎僧保証範囲

製品が故障した場合、お客様は保証書に記載された保証期間内において、弊社に対し無償修理を依頼する ことができます

- ただし下記の場合、弊社は無償修理を承れません。 (1) 保証書をご提示いただけない場合。
- (2) 保証書に販売店印ならびに購入年月日の記載がない場合。
- (3) 保証書が弊社から発行した保証書でない場合、または偽造・改変などが認められた場合。
- (4)弊社より発行した保証書と認められない程に破損・汚れが付着している場合。
- (5) 故障した製品をお送り頂けない場合。
- (6)弊社が動作を保証するとして指定した機器以外でご使用したために故障または破損した場合。 (7)お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
- (8) 火災・水害など天変地変および静電気などの異常な電圧などの外的要因により故障または破損し
- た場合。
- (9)消耗部品の自然な消耗・劣化により故障した場合。
- (10) 輸送中の振動・落下により故障した場合。
   (11) 一般家庭用以外(例えば業務用)での使用による故障または破損した場合。
- (12) その他、弊社の判断に基づき、無償保証が認められない場合。

#### ■修理

修理のご依頼時には製品をお買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターにご送付ください。

#### ■ 会害事項 お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、損害賠償責任は購 入金額を限度といたします 弊社における保証は本製品の機能に関する保証のみに限ります。弊社瑕疵にもとづく本製品以外の書には

応じません。 また記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

#### ■有効範囲 本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

### ユーザーサポートについて

本製品のマニュアルは保証書を兼用しています。保証内容をお確かめの上大切に 保管してください。本製品のご使用中に何らかのトラブルが起きたとき、または操 作方法や使いかたがわからないときは、エレコム総合インフォメーションセンター にご連絡ください。

商品に関する お問い合わせは	●エレコム総合インフォメーションセンター <b>TEL. 0570-084-465</b> <b>FAX. 0570-050-012</b>	受付時間 9:00~12:00 13:00~18:00
	FAA. 05/0-050-012	

_ 基本仕様	
製品名	無線マウス
製品型番	M-D5UR
インターフェイス	USB
使用周波数	27MHz 帯
対 応 機 種	IBM PC/AT 互換機および NEC PC98-NX シリーズで
	USB ボートを標準で装備した機種
対応OS	Windows® XP / Me / 2000 / 98
電源	単4形アルカリ乾電池または単4形マンガン乾電池 2本
電波到達距離	非磁性体(木製机など):半径約 1.0m、
	磁性体(スチール製机など):半径約 0.1m
	※当社環境でのテスト値
電力性能	アルカリ乾電池使用時の目安
	連続作動時間:約52時間、連続待機時間:約192日(4600時間)
	想定使用可能時間:約15日
	(1日8時間のパソコン操作中25%をマウス操作に割り当てた場合)
動作温度 / 湿度	0~60°C/0~90%(RH)
保存温度 / 湿度	- 40~60°C / 0~95%(RH)
分解能	800 カウント/インチ
形状寸法 / 質量	マウス本体: W50.7 × D85.0 × H30.4mm / 48g(電池含まず)
	レシーバユニット: W16.5 × D56.5 × H8.2mm / 8g
梱包内容	マウス本体、レシーバユニット、単4形アルカリ乾電池、
	USB 延長ケーブル、マウス収納ポーチ、マニュアル

本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。

 ・本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。 ・本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。

・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。 ・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可 が必要です。

Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft 社の登録商標です。その他本書に掲載されている商品名 / 社名など は、一般に商標ならびに登録商標です。







、微醌無線設備、

TELEC (TELEC)により、電波法施行規則第6条第1項第1号 に規定する発射電波が著しく微弱な無線局の無線設備 性能証明 E第 712号 であることを証明されたものです。

本製品は財団法人テレコムエンジニアリングセンター

http://www.telec.or.jp/